

様式1

令和2年度 学校評価表

学校教育目標	夢チャレンジ ～かしこく やさしく たくましく～
--------	--------------------------

尾道市立三成小学校

a ミッション	小中連携を核とした確かな学力定着の取組の深化と発信	a ビジョン	「学んでよし 働いてよし 通わせてよし」三方よしの学校
---------	---------------------------	--------	-----------------------------

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画				
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月		1月		h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値	g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
自分の課題や現状を認識し、進んで知識や情報を得て、粘り強く学びに向かう児童の育成	自らの学びを自覚する児童の育成	話型を用いて自分の考えを分かりやすく話させ、学びを自覚させるような学習の振り返りをさせる。	児童アンケート「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手にわかりやすく伝わるような発表の工夫をしている。」 「学習の振り返りをするときには、『どこまで分かったか』、『学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由』を考えている」について肯定的評価をした児童の割合	75%												
	進んで知識や情報を得ようとする児童の育成	読書や新聞に親しむことで学びの土台をつくり、確かな学力の基盤となる国語の定着度を伸ばす。	国語の単元末テストの通過率	低学年 90%												
「学んでよし 働いてよし 通わせてよし」三方よしの学校づくり	気持ちのよい挨拶をする児童の育成	「いつでも・どこでも・だれにでも」気持ちのよい挨拶をすることを習慣化させる。 (4月～7月)自分からたくさんの人に挨拶をする。 (9月～1月)自分から大きな声で笑顔で挨拶をする。	気持ちのよい挨拶についての児童アンケートにおいて、肯定的に答えた児童の割合	80%												
	何事にも粘り強く取り組む児童の育成	最後までやりきる児童の育成	児童アンケート「難しい問題でもどのような答えになるか粘り強く考えている」 「自分に与えられた役割を最後までやりとげている」 「自分の決めためてを守る事ができた」と肯定的に答えた児童の割合	80%												
進んで体力を高める児童の育成	握力の向上を目指す児童の育成	タオルチャレンジ実施の徹底 ・放送による実施の呼びかけ ・正しい実施方法の指導・呼びかけ	4月に行う握力の計測時からの数値が向上した児童の割合	90%												
子供を安心して通わせることができる学校作り	不祥事〇を目指す	「働き方改革」を進め、時間と心のゆとりを生む。定期的にヒヤリハット事業の交流を行う。	職員アンケート「自分の職務に充実感を持っている」の肯定的評価の割合	80%												
	学校と保護者との相互理解を深める	職員による情報発信を行い、保護者の学校満足度を高める。	保護者アンケート「安心して子供を学校に通わせている」の肯定的評価の割合	90%												

【自己評価 評価】  
A：100≦(目標達成)  
C：60≦(もう少し) < 80

B：80≦(ほぼ達成) < 100  
D：(できていない) < 60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。